

外国人と日本人とが、ともに豊かに生きる地域社会を！

ハロー フレンズ



ふじみの国際交流センター
Fujimino International Cultural Exchange Center

2025年 1月号 (年3回発行) 第167号



あけましておめでとうございます。



ふじみの国際交流センター(以下、FICEC)の活動にご支援、ご協力を頂き、厚く御礼を申し上げます。本年もよろしくお願い致します。

さて、今年のお正月は、みなさまはどのように迎えられましたでしょうか？昨年は元旦から能登半島において大地震が発生し、2日には航空機事故が発生し、この先、どうなっていくのだろうか？と不安に感じたことをついこの間の様に思い出します。被害にあわれた皆様に心よりお見舞いを申し上げますと共に、安心して暮らせる日々が早く訪れることを願うばかりです。2025年のお正月は、穏やかに迎えられることを祈っています。

さて、毎年の干支を紹介していますが、2025年の干支は巳年です。「巳」は十二支では6番目に位置し、変温動物である蛇です。十二支は植物の成長を表すので、巳は成長することが止む「巳」であり、成長することが極限にまで達した状態だそうです。蛇は脱皮しながら成長するのでありますが、復活・再生の象徴とされ、神秘的な力を持つので、神の使いだとも言われています。

FICECの活動に置き換えてみると、内部はさまざまな仕組みやルールの見直しが行われています。外国人向けの生活相談は、相談内容も変わってきています。Only English café(英語によるコミュニケーション)の事業も定着しています。ふじみ野市七夕まつり、西公民館まつり、富士見市国際フォーラム、みよしまつりにも参加し、地域との交流を行いました。

昨今では二市一町に住む外国人が7000人を超え、近隣自治体の方々も含め、多くの方々に利用していただいています。

日本語教室の学習者が10人を超えたり、国際子どもクラブの参加者も毎回20人を超えるなど、外国人の増加がFICEC事業への参加者人数にも影響しています。学習者が増えるのは良いことですが、これ以上増えるとボランティアの人数や教室の広さが対応できません。

昨年はふじみ野市に「日本語教育が必要な児童への対策」をお願いしました。二市一町と開催している国際化会議でも急速な外国人増加への対策の必要性を訴えました。

多言語による相談や広報、日本語教室をはじめとした事業活動は地域の人達と外国人の共生に向けての取り組みです。多文化共生、相互理解向上に向け、取り組みを続けるFICECへのご理解、ご協力とご支援をお願い致します。

(理事長 室井伸幸)



「在日外国人の現状と人権について」ふじみ野高校にて

進 洗子

11月7日、ふじみ野高校に行ってきました。テーマは「在日外国人の現状と人権について」の話です。私なら、昼食をとった後一方的に1時間も話を聞いていたらほぼ確実に眠ってしまいそう。それで3択問題などを10問ほど取り入れて、生徒さんたちに参加してもらいながら話をしました。人権については主に子どもの権利条約に焦点を絞りました。二つのテーマで話を深めることができなかつたり、生徒さん達には物足りなかつたのではと、反省することしきりですが、意外と、というかやはり、というか在日外国人や人権について多くの日本人があまりよく知らないようにふじみ野高校1年生の生徒さんもそれは同じだったようです。

授業の後で、先生方が生徒さんたちにとつた振り返りシートの中からいくつか紹介します。

1. 講演会を聞いて在日外国人について気づいたこと、初めて知ったことを書いてください。

- ・日本に300万人も在日外国人がいるとは知らなかつたので驚きました。単純計算で35人に1人になるので1クラスに1人はいるということになります。とても身近な存在なのだと思いました。
- ・いろいろな外国人がいろいろな目的、環境で日本に来ているんだなと思ひ難しい気持ちになりました。
- ・外国人も年金をもらえたり、健康保険に入っていることを知って差別がなくてうれしい！

2. 講演会を聞く前と後であなたの気持ちにどのような変化が生まれましたか。

- ・聞く前はただわからない言語で話していたり、ルールを守れていなかったり、嫌な人もいるなと思ひていたけれど、ルールや様々な礼儀が多い日本を理解するのは確かに難しいし、日本語も難しいし、外国人も大変だな、差別などしないようにしようと思ひた。
- ・あまり普段、外国人について考えることがなく、たくさんの偏見があつたなと感じました。

今日の講演会を聞いてもう少し興味関心をもって接していきたいなと思ひました。在日外国人の方々税金を払うこと、健康保険に入れるということに驚きました。日本人だけが払う、また入れると思ひていたので。日本にいたら国籍が違つても日本にいるということに興味があるのだなと感じることができました。

3. 講演を聞いて今後あなたは普段の生活の中でどのようなことに気を付けていきたいと思ひますか。

- ・日本には日本人だけではなく、たくさんの国から来ている人もいるし、外国人だからと言つて差別してはいけないということが分かりました。人権はすべての人が生まれながらにあるもので人権を奪つたり、人に悪いことをしないよう今後気を付けていきたいです。
- ・埼玉県にも多くの日本人が住んでいるので会つたときとか怖がらずに優しく対応していきたいと思ひました。
- ・外国人にももう少し目を向けてお互いが楽しく生きて行けるような環境づくりを意識していきたいと思ひました。外国人にもいろいろな思ひがあると思ひから日本人の私が笑顔にすることができたらいいなと思ひました。

などなど、私からは生徒さんたちに、ああして欲しい、こうして欲しいなどの話は一切しませんでした。生徒さんたちは、柔軟に受け止めてそれぞれの感想や意見を書いてくれ、その感性が素晴らしいなと思ひました。午後のひととき、とても楽しかつたです。



外国人のためのフードバンクを利用しよう！

永田信雄

FICECは、2020年10月に外国人のためのフードバンクをスタートさせました。

フードバンクとは「まだ食べられるのに、様々な理由で捨てられてしまう食品を、必要とする

人たちの手に届ける活動」です。食品ロスの削減が叫ばれる一方で、困窮している世帯も多く、フードバンクの必要性が高まっています。

FICECフードバンクは、4年間で1,300人が利用しました。

FICECフードバンクは、2020年10月から2021年9月までの1年間で約30か国、578人に利用されました。2023年10月から2024年9月までのフードバンク利用者は18か国、106人でした。国籍別利用者は右のようになっています。

困窮していても声を上げられない人もたくさんいると言われています。FICECはフードバンク事業を行うことにより「在留外国人を対象とした生活相談・生活支援」が充実しました。

ウガンダ、ガーナ
ナイジェリア、
中央アフリカ、
中国、イラン、
インド、チュニジア
リベリア

国籍	人
フィリピン	33
カメルーン	13
コンゴ	12
セネガル	12
ネパール	9
パキスタン	5
ブラジル	4
バングラデシュ	3
その他	15

フードバンクの食品等は全て無料です。

フードバンクは「助けあい運動」ですから、利用できる人には優先順位があります。

*生活困窮者(経済的に困っている人)

*一人親家庭

賞味期限が短い食品はFICECを訪れる全ての外国人が対象となります。

*生活相談や翻訳依頼で来訪した人

*日本語教室の受講者

*国際子どもクラブ参加者

FICECフードバンクには、お米・パスタ・インスタントラーメン・レトルト食品・缶詰(肉、魚、フルーツ)・パン・お菓子を用意しています。必要により粉ミルク・離乳食もあります。

※ハラール食品にも対応しています。



*FICEC に来所できない人には宅配便による食料支援を行っています。

フードバンクの仕組み

フードバンク活動とは規格外品や包装の印字ミスなど商品の品質には問題がないにも関わらず通常の販売が困難になった食品をNPOなどが引き取って福祉施設などに無償で提供する活動です。

日本では200以上の団体が活動しています。

(令和4年10月末時点、農林水産省調査)

平成30年の年間食品取扱量は約2.8千トンです。(平成31年度の農林水産省フードバンク実態調査事業で取扱量の回答のあった76団体の合計)

ボランティア紹介 日本語ボランティアの活動で元気を頂いています

高橋 博

私は技術者として働いてきましたが、大学で経済と法律を学ぶ機会を得て、平成25年7月に、行政書士を開業しました。(川越の自宅で)

前理事長の石井ナナエ様の講演会に参加させて頂いたことがきっかけで、平成26年12月5日午後、初めてふじみの国際交流センターを訪問させて頂きました。石井様から、埼玉には47か国から来られた外国人の方が、活動・生活しておられること、そして、当センターでは、来日した外国人の方が、日本での仕事、生活に関して、無償で相談に応じており、相談者によりそった継続的な支援に努めていると伺いました。

そして、外国人が必要とする日本語の習得に役立つように、毎週木曜日午前、無償で日本語教室を開催し、多彩な方々が学びに来ておられること、教える方は、ボランティアで、都合のつく日に1対1で教えている

旨お聞きし、当日は、ナイジェリアから来られた母・お子様3人と、お話することが出来ました。(現在は、毎週月曜日も開催)

そして、小生は石井様と、日本語ボランティアとして、今後参加させて頂くこととさせて頂きました。

12月11日以降、現在まで、計325回参加させて頂き、多彩な方々と、楽しく活動させて頂いております。私にとって海外から仕事や学業等で来日した方が、日本での生活・仕事に役立つための日本語学習に取り組む1時間半は、実に楽しく有意義なものです。折に触れて、母国の暮らし、仕事、文化など、聞かせて頂くこともあります。

今後も、元気に活動に取り組んで行きたいと思っておりますので、どうか よろしくお願い致します。

富士見市国際フォーラムに参加しました。

10月6日(日曜)、富士見市国際交流フォーラム「世界へのとびら」が富士見市キラリふじみ、マルチホールにおいて開催されました。370名以上の来場者で賑わいました。

世界の国々の文化と交流ができるイベントとして、わいわいワールドトーク、世界の言葉で書いてみよう、民族衣装の試着、セルビアフェスタ、和太鼓の演奏、フラダンス、歌、世界のお茶の試飲会などがありました。

展示コーナーでは世界の日用品、おもちゃ、やさしい日本語、国際交流関係団体などの展示がありました。

わいわいワールドトークでは、FICECの日本語教室で学んでいる在日外国人の方々や、一般参加者の方々と交えて、お正月、朝ごはん、学校など身近なテーマについて、いろいろなトークができました。

世界の言葉で書いてみようのコーナーでは、外国籍の方たちとお話をしながら名前や好きな言葉



を書いてもらいました。

スタンプラリーでは、アンケート回答者にフランス菓子がプレゼントされました。

普段はなかなか接することがない在日外国人や、海外の文化と身近に接することができるよい機会です。次回も楽しみにご来場ください。

(茂木久美子)

令和6年度子ども大学ふじみ野 おやつで感じる国際理解

どんな国でも、食べることは大切な楽しみのうちのひとつではないでしょうか。使う材料、作り方、出来上がりの見た目、さまざまところに、その国の文化があらわれます。おやつを作りながら国際交流をしてみよう、というイベントに、ふじみ野市の小学生たちが集まり、ウイグル自治区とミャンマーのおやつ作りに挑戦しました。先生は、郭 菁(カク セイ)先生とleilei(レレ)先生です。2つの国について先生からお話を聞いた後、2チームに分かれ、ウイグル自治区の酸餃(スアンジャオ)と、ミャンマーの

オンノオターゲーを作りました。酸餃の包み方は難しく、みんな集中して包みます。オンノオターゲーでは、タピオカは知っていても、自分で煮て型に入れて冷やすのは初めて。出来上がった美味しいおやつをみんなで食べながら、FICECのお話を聞き、日本で暮らす外国の方々の過ごし方について考えました。参加した小学生たちは、自分が体験したおやつ作りや知ったこと、考えたことを1枚のレポートにまとめ、みんなの国際理解が1冊の本になりました。(文京学院大学 菖蒲澤侑)



2025年
1月26日

ふじみ野市
市民活動交流会

会場/「フクトピア」
イオンタウンふじみ野近く

楽しいコーナーがいっぱい！
遊びに行ってみよう！

音楽やステージ発表、展示、ワークショップ体験、食品販売、健康チェック、木材で自由工作、キーワード探し、景品交換…など



子どもクラブを支える方たち

進 洗子

毎週土曜日、子どもクラブには15,6人前後の子どもたちが通ってきます。はやい子は、9時前から、それから三々五々とやってきます。まだ日本に来たばかりで日本語が全く話せない子どもから、生まれたのは日本、という子どももいます。そのため子どものニーズはいろいろです。日本語を初歩から学ぶ子、漢字の読み書きを学習する子、少し日本語が分かってきて算数、数学の計算問題をやる子、宿題を持ってくる子、いろいろです。

学習が終わったら、少し遊んで帰る子もいます。パズルや折り紙、子どもクラブにあるおもちゃなどでなどなど。

子ども同士の交流もあります。同じ国同士はもちろん、違う国同士でもすぐ友達になって遊んだりもします。5日間のウィークデイの後の大事な休みの日に、午前中から通い続けるのは大変なことだと思います。

そんな子どもたちを教え、支えてくれるのはボランティアの方々です。スタッフと共に毎週10

人くらいで子どもたちを教えたり遊んだりして支えてくださっています。その日の勉強などの感想や教える内容のアドバイスなどもいただき、心強い限りのボランティアの方々です。12月7日、何人かのボランティアさんに一言書いていただきました。

・子どもたちの成長が見られてとても楽しいです。(菊池)

・いろいろな国の子がいて教え方も子どもに合わせて考える必要があるのが大変ですが面白いです。(齋藤)

・日本語がほとんどわからない子どもたちとも教室を通じて交流でき親しくなれることが楽しいです。(得能)

・子どもたちの吸収の速さに驚きます。出身の国の話を聞いたり、子どもたちのがんばりを見て私もたくさん学んでいます。学校のお友達ができて楽しく過ごすことができることを願っています。(栗島)



ふじみの国際交流センターのサポーターになってください

マンスリーサポーター募集中!!

在留外国人に多言語での情報提供や、生活相談、日本語学習の場が必要と思う方、在留外国人の孤立を防ぐための活動が必要と考えている方や企業のみなさま、またボランティアをしたいけれど時間のない方はマンスリーサポーターになってください。

一人でも多くの方々の支援をいただくことでFICECの事業を継続して行くことができます。

◎マンスリーサポートの流れ

①HPの申込フォーム、電話、FAX、ハガキ等でご連絡ください。

住所 〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25
ふじみの国際交流センター マンスリーサポート係

電話 049-256-4290 または 049-269-6450 FAX 049-256-4291



②ご連絡いただいた方に、ゆうちょ銀行指定の自動払込申込書(3枚綴り)を送付します。

③ゆうちょ番号・寄付金額をご記入の上、押印して、返信用封筒にてご返信ください。

④毎月25日にゆうちょ銀行口座から自動引き落としで対応させていただきます。

◎スポットサポーター募集(不定期、または一回のみのサポート)

郵便振替口座(口座番号:00110-0-369511、

口座名:[特活]ふじみの国際交流センター)

または、現金書留でお願いいたします。

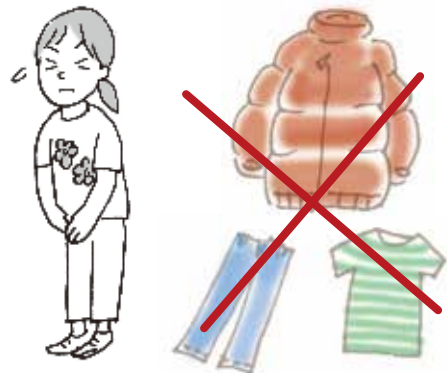


おねがい

日頃から

FICECにご支援いただきありがとうございます。
誠に勝手ながら、衣類のご寄付につきましては
利用がないためお断りしております。

ご理解のほど、どうぞよろしくお願い致します。



FICECの活動をご支援ください
会員・賛助会員・寄付のご案内

●活動を担う会員…正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

●FICECを財政的に支える会員…賛助会員

賛助会員は、FICECを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、FICECのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関誌をお送りします

郵便振替口座: 00110-0-369511
 口座名: [特活] ふじみの国際交流センター

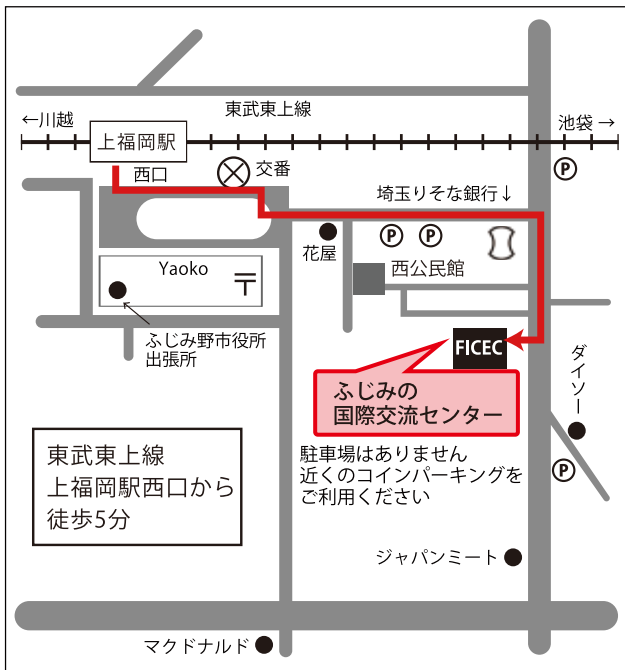
外国人生活相談 無料

月曜日～金曜日 10:00～16:00

電話: 049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら
 FICECをご紹介ください。

※コピー代など料金がかかる場合があります



埼玉県指定・認定特定非営利活動法人
ふじみの国際交流センター

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25
 TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291
 生活相談専用電話 049-269-6450

ご寄付をいただいた方々
 ご支援ありがとうございます

●2023年12月1日～2024年12月15日(敬称略)

阿久津俊昭、穴沢エミリン、新井順子、新井洋子、新井良司、安銀柱、安昌美、石山達也、伊藤愛、伊藤正子、上島直美、江釣子孝一、王即堯、大野渉、大場弥太郎、岡田哲郎、岡本直久、小熊千寿子、尾崎功、柏木ひろみ、片倉ミン、神田順子、北林ジャネット、ギャレット三宅万里子、丘亜蘭、久御山町議会、栗嶋三千代、木場ひろみ、小林暁美、小林和恵、近藤知代、酒井有香、佐藤義治、芝山喜巳子、島田敏郎、ジャリアヌソルン・ジェット、清水昭彦、進洗子、ゾシスザン、高橋博、高橋真梨子、武田和子、田嶋浩子、チンテイヴァン、塚本秀樹、デン・インガワティ、戸塚成子、豊枝洋子、ハオヤンリ、長谷川正江、藤澤園子、藤巻則幸、保坂佐紀恵、水野毅、茂木久美子、森田有美子、矢澤美紀、山畑博子、吉井ジュリエッタ、和田弘、匿名2名

〈マンスリーサポーター〉

遠藤慧子、太田政男、小林久美、末吉智子、仲野京子、野田恭三、藤井みどり、吉田憲郎、吉野高章

※埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付をしてくださった方は、税金の優遇を受けることができます。

ふじみの国際交流センター サービス案内 (詳しくはお問い合わせください)		
外国人 ゲスト派遣	国際理解教育	3,000円+事務費+税
	外国料理教室	5,000円(材料費別途)+税
講師派遣	多文化共生講座	20,000円+税
	ボランティア講座	(活動運営のためご協力ください)
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等	内容・予算に応じて相談
編集・出版	多言語による情報誌・ガイドブック・チラシなどの制作	
翻訳	婚姻関係、ビザ申請、履歴書等	A4 3,000円/ページ+税
通訳	半日6,000円+税	
見学・研修(資料代として)	1,000円/人、日+税	

※別途交通費がかかる場合があります